

各 位

会 社 名 **太洋物産株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 柏原 滋
(JASDAQ・コード番号:9941)
問 合 せ 先 執行役員総務部ジェネラルマネージャー
役 職 ・ 氏 名 宮内 敏雄
電 話 (03)5333-8080

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成26年11月12日公表予定の「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしますのでお知らせいたします。

記

当社は、第 68 期事業年度のリーマン・ブラザーズの破綻により生じた商品市況の下落、及び景気後退の影響を受け、第 69 期事業年度から第 72 期事業年度まで 4 事業年度連続して営業損失、経常損失を計上したことにより経営基盤及び財務基盤が安定していないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性を抱かせる状況が存在していると認識しておりました。

これまでに当該状況を解消すべく、不採算事業から撤退するとともに、資金の効率的運用を目的として、多額の資金を必要とする大豆・菜種等の取り扱いを減らしてまいりました。併せて、毀損した資本を補うため、二度にわたる第三者割当増資(平成 23 年 4 月 26 日払込期日、平成 25 年 9 月 26 日払込期日)を実施し、資本金及び資本準備金をそれぞれ 1 億 20 百万円増加させております。

この結果、鶏肉・加工品を主力とする畜産品における営業活動も安定した利益をもたらす体制が整っており、また中国との貿易につきましても依然として厳しい状況が続いているものの、産業車輛用の部品や化学品等で隙間を埋める営業活動も順調に推移し、第 73 期事業年度には売上高を 202 億 3 百万円(第 72 期事業年度比 5.0%増)とし、営業利益が 3 億 51 百万円、経常利益が 2 億 64 百万円となり、当第 74 期事業年度におきましても新たに始めた船舶部品や中国以外のアジア地域への車輛部品の輸出等も加わり売上高が 235 億 6 百万円、営業利益が 2 億 24 万円、経常利益が 1 億 53 百万円となる見込であり、2 事業年度連続して営業利益、経常利益を計上する見込です。

当第 74 期事業年度末におきましての利益剰余金が△22 億 34 百万円、純資産につきましても 3 億 19 百万円となる見込ではありますが、業容は順調に回復基調にあり、経営基盤及び財務基盤も安定し、また、金融機関の支援も引き続きいただける状況となっていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性を抱かせる状況が存在していないと判断し「継続企業の前提に関する重要事象等」及び「継続企業の前提に関する注記」についての記載を解消いたします。

今後も、より一層の収益力の強化に取り組み、更なる業績向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上